

## 「食品産業エネルギー利用効率向上支援事業」の概要

### 1 目 的

食品産業においては、原材料等の利用段階、加熱、冷却、水の使用・排水、照明・空調・動力、配送・物流など様々な工程でエネルギーを消費しており、燃料価格が高値基調で推移していることや電気料金の値上げによって、食品産業を取り巻く経営環境の厳しい状況が続く中、効果的な省エネ設備の導入やエネルギー削減の取組が急務となっている。

また、食品ロスの削減についても、エネルギー削減とコスト削減に直結するものであり、食品製造業においては、消費期限・賞味期限の長い新商品等の開発が課題となっている。

このため、事業所における省エネや食ロス対策等の取組実態や取組のボトルネックとなっている課題等を調査・把握し、具体的な取組方法やコスト削減効果等を示すことにより、食品産業におけるエネルギー削減等の取組を促進する。

### 2 実施期間

平成 30 年 5 月 16 日から平成 31 年 2 月 28 日まで

### 3 事業内容

#### (1) 食品産業における省エネルギー対策・食品ロス削減の取組に関する調査の実施

ア アンケート調査の実施

イ ヒアリング調査の実施

#### (2) 冊子（テキスト）の作成

#### (3) 道内 6 地域での勉強会（セミナー）の開催

### 4 実施結果

#### (1) 食品産業における省エネルギー対策・食品ロス削減の取組に関する調査の実施

ア アンケート調査の実施

食品製造企業等における省エネルギー対策や食品ロス削減の取組に関する現状、課題等を把握するため、アンケート調査を実施した。

##### (ア) 目 的

道内の食品産業における省エネルギー対策や食品ロス削減の取組の現状、課題等を調査し、エネルギーの削減によるコスト削減の効果など、その結果を広く周知することで、新たな取組につなげていく事業の一環として行う。

##### (イ) 対象企業数

3, 9 2 3 社（事業所）

##### (ウ) 回答企業数

2 3 6 社（回答率 6. 0 %）

イ ヒアリング調査の実施

アンケート調査への回答企業を中心に、省エネルギー対策や食品ロス削減の取組について、具体的かつ詳細な内容を直接確認するため、対象企業 3 0 社をリストアップし、企業を訪問してのヒアリング調査を実施した。

(ア) 目 的

アンケート調査に回答のあった企業等に対し、省エネルギー対策や食品ロス削減の取組内容の深掘りや肉付け、補足事項等の確認を行い、他の食品製造企業等の取組の参考となるような先進事例や好事例を発掘する。

(イ) ヒアリング調査企業数

食品製造・加工企業30社

(2) 冊子（テキスト）の作成

ア 目 的

アンケート調査やヒアリング調査の結果を基に、食品製造企業が省エネルギーの取組を進めるに当たっての参考となる冊子（テキスト）を作成し、道内6地域で開催する勉強会（セミナー）の参加者に配付するほか、広く省エネルギーを促進するための啓発資料として活用する。

イ 名 称

企業が考える省エネの工夫

～食品産業における省エネルギー対策、食品ロス削減の取組～

ウ 内 容

当会のホームページに冊子(テキスト)を掲載していますので、そちらをご覧ください。

(3) 道内6地域での勉強会（セミナー）の開催

ア 目 的

食品製造企業を対象に、エネルギーに関する現状や省エネの必要性などについての講演を行うとともに、優れた省エネの取組を実践している民間企業の事例を紹介することにより、食品産業におけるエネルギー削減の取組の促進を図る。

イ 開 催 地

札幌市、函館市、旭川市、帯広市、釧路市及び北見市の6地域

ウ 勉強会（セミナー）の名称

食品製造企業のための省エネ促進セミナー

エ 内 容

第Ⅰ部 一般財団法人省エネルギーセンターの講師による基調講演

第Ⅱ部 民間企業の講師による事例発表

オ 開催の結果

開催地	開催日	開催場所	参加者数(人)
帯広市	平成30年12月13日	ホテルグランテラス帯広	24
釧路市	12月14日	ANAクラウンプラザホテル釧路	14
北見市	12月21日	ホテル黒部	14
函館市	平成31年1月18日	フォーポイントバイシェラトン函館	14
旭川市	1月25日	OMO7旭川	21
札幌市	2月1日	ロイトン札幌	35
			計 122